

一般社団法人家族の信託ながさき連絡協議会

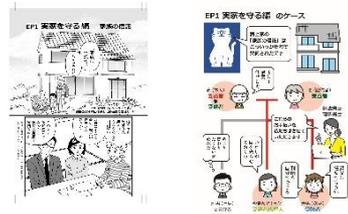
事業概要 事業計画は、長崎県において民事信託の一つである「家族の信託」を活用し、空き家の発生を抑止するためのプラットフォームの構築を目指す。行政書士や土地家屋調査士、不動産事業者、ファイナンシャルプランナーなどの関係者と協力し、特に長崎市、大村市、諫早市、佐世保市の空き家対策担当者に民事信託の有用性を伝えること、医療機関・介護施設へのアプローチを実施する。

事業者情報	
団体名	一般社団法人家族の信託ながさき連絡協議会
所在地	長崎県長崎市千歳町6-11高島第3ビル301
設立時期	令和5年9月1日
団体HP	https://www.shintaku-nagasaki.com/

取組内容及び成果

1. 「家族の信託」普及啓発資料の作成

- ① 家族の信託の冊子を漫画化する（概要編、委託者編、受託者編）
- ② 家族の信託も考慮した住まいの終活ノートの作成

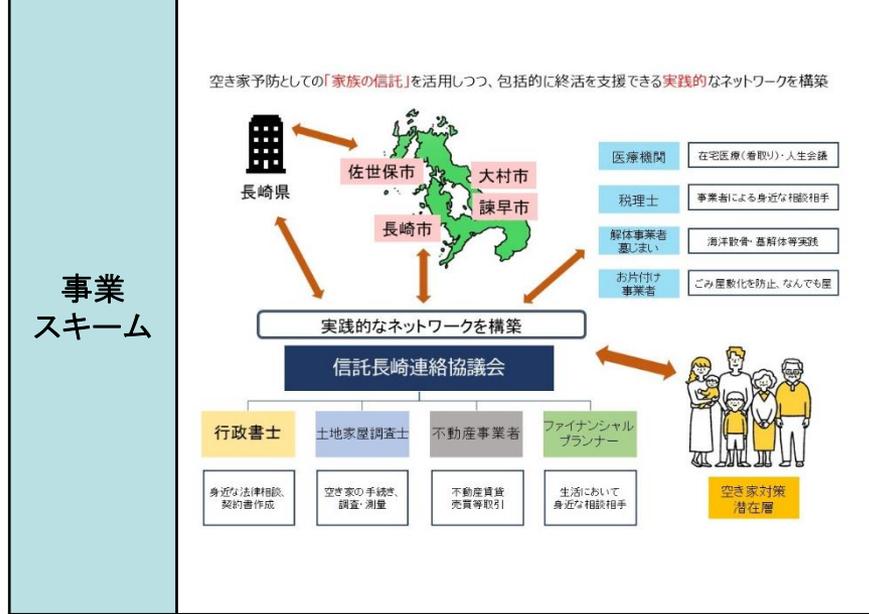


活動地域 長崎県内全域

自治体・各市町地域社会福祉協議会
医療機関・介護機関・不動産関連事業者
テレビ局・インターネット媒体

2. 「家族の信託」普及啓発活動

空き家の管理負担・リスクや高齢者の住まいの終活に関する情報発信。長崎県下15市町・各地域社協15の担当者と協議・家族の信託マンガ無償提供。県内テレビ局（NBC）情報ニュースへ出演。水道局車両広告出稿。

3. 官民連携による空き家に関する相談に対し、専門的な知識・ノウハウを持った人材・連携体制による相談業務（オンライン含む）や専門家派遣、普及啓発・提案等を行う取組

参加者が危機感を持ち「家族の信託」に取り組む意欲を高めた上で、当会が実践的な情報や具体的な支援を提供し、参加者が自信を持ち、具体的な行動に移しやすくなるように支援する。2023年12月16日・17日に出島メッセで開かれた「2023まちづくり総合住宅フェア」（長崎県住宅課主催）にて「家族の信託ブース」出展、「家族の信託セミナー」開催。



取組① 「家族の信託」普及啓発資料の作成

- ① 家族の信託の冊子を漫画化する
- ② 家族の信託も考慮したエンディングノートの作成



<p>親しみやすさ</p> <p>漫画にすることで興味を持ちやすい。</p> <p>視覚的な要素により…情報を楽しく分かりやすく伝えることができる。</p>	<p>ストーリー性</p> <p>「家族の信託」の概念やメリットを物語性の豊かな形式で伝えることができる。</p> <p>舞台が長崎なので、読者は身近な話として共感しやすくなる。</p>	<p>分かりやすさ</p> <p>簡潔な文章により、要点をわかりやすくまとめることができる。</p> <p>専門的な情報や法律用語を取り入れながらも、一般の人々が理解しやすい形で伝えることができる。</p>	<p>行動促進</p> <p>漫画は読者の感情や意識に訴えかける力がある。</p> <p>具体的な事例や解決策を描くことで「家族の信託」への関心や行動意欲を高めることができる。</p>

これまで、当会もセミナーやラジオ、チラシ等で説明をしてきた際の最大のネック、「信託の仕組みを理解するのは難しい」との先入観を払拭する一助となった。

取組② 「家族の信託」普及啓発活動

- ①空き家の管理負担・リスクや高齢者の住まいの終活に関する情報発信、
- ②相続人に対する活用促進など空き家の発生抑制に向けた普及啓発活動



県の支援の下、県内の主要市町空き家担当部署に訪問及び資料等の窓口設置



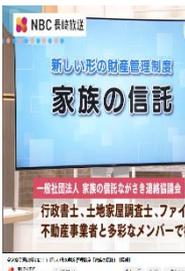
医療機関・介護施設への情報提供
利用者から財産関連の相談を受ける
が対応できていない現状あり



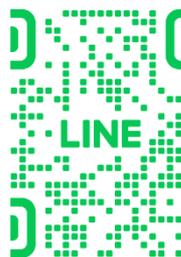
不動産会社等、空き家を取り巻く関係機関へ資料等の配布
現場のお困りごとを調査し、相談会やセミナー等の要望を伺う



「家族の信託」ステッカー
長崎市水道局公用車広告へ出稿



テレビやYoutubeを通じて幅広い年代の方々へ「家族の信託」を知って頂くことで、空き家になるずっと前から手を打っておくことが重要であることについて周知する。



公式LINEを開設
幅広い方へ最新の情報をお届けするためのツールとしてLINEを選択
オンラインでの相談窓口としても機能させていく

取組③ 官民連携による空き家に関する相談の場創出

県民が危機感を持ち「家族の信託」に取り組む意欲を高めた上で、当会が実践的な情報や具体的な支援を提供し、参加者が自信を持ち、具体的な行動に移しやすくなるように支援する。

【問題意識の共有】

「家族の信託」によって解決できる具体的な問題や課題について共有し、空き家問題や相続の困難さなど、現実の問題を示すことで参加者に危機感を抱かせる

公的機関の主催等とすることで、参加のハードルを下げより多くの人に情報を届けることができる

【専門家のサポート】

セミナーや相談会には、当会の行政書士や不動産関係の専門家を招き、参加者の質問や疑問に答える場を設ける

専門家のサポートがあることで、参加者はより具体的な情報やアドバイスを得られ、「家族の信託」に取り組む自信を持つことができると考える

【官民連携】

県民へのセミナー開催

県内広域広報活動（長崎県は離島も多く、統一的な広報活動は民間では厳しい面あり）



「家族の信託」の契約を作成することに固執するのではなく、相談者に合ったサービスを提供できるよう、信託契約のみならず、終活全般（片付け、墓じまい、解体等）の事業者とのマッチングも行い、総合相談口としての位置づけを確立する。

一般社団法人 家族の信託ながさき連絡協議会



全員がセミナー・相談業務の対応ができる
実践的なネットワークを構築する